

特定非営利活動法人 太陽
めいぶる

公表: 令和6年3月21日

事業所名:

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			令和2年4月に新築した建物であり、基準は満たしている。指導訓練室や療育室などはクラス分けし、ホール(遊戯室)は共有している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切である。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			子どもの特性に応じ、分かりやすく構造化されている。建物内は全てバリアフリー化されている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			支援計画策定会議で支援計画を定め、定期的にモニタリングを行っている。目標設定の振り返りや見直しは、チームで行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケート調査を実施し、保護者の意見や要望を聞き取り、業務改善につなげていくようにしている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページ上で公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者の評価はしていない。今後第三者による外部評価を検討している。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			研修計画を定め外部研修に参加できるようにしている。	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			契約時にアセスメントを行い、ニーズや課題を明確にしサービス計画を作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	事業所独自のアセスメントシートを使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員など、チームで活動プログラムの立案を行っている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			子どもの発達段階や、興味関心を見ながらプログラムを組み立てている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			学校の長期休暇の時には、地域の施設を利用したり、公園に出掛けたりと、変化を持たせた日課や課題を設定している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別課題終了後に、ゲームや外遊びなどの集団の関わりを支援している。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝のミーティングで、その日の受け入れ児童の支援の課題や、動きについて打ち合わせをしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援終了後に、支援の振り返りミーティングを行い、情報共有を図っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			支援の検証ができるような支援記録を心がけ、モニタリングに反映できるようにしている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			最低でも6ヶ月ごとにモニタリングを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	<input type="radio"/>			ガイドラインを参考に、特に配慮した利用者支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児童発達管理責任者や主となる担当者が、サービス担当者会議に参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	<input type="radio"/>			年度当初には学校を訪問し利用児の学校での様子を伺い、情報の共有や連絡調整を行っている。また、必要に応じてケア会議を行い情報の共有に努めている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	医療的ケアが必要な利用児は受け入れていない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			利用していた事業所や園を訪問し、利用児の特性や支援内容等の情報を収集し支援に活かすようにしている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	学校を卒業する児童がまだいない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>			専門機関の研修等を受講するようにしている。針生ヶ丘病院の発達療育研修に1年間通わせ、自閉症支援の基礎を学んでいる。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	夏休みには屋内遊戯施設や、図書館等を利用している。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			子ども支援部会には必ず参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			送迎の際や連絡帳を活用して情報交換を行っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>			ペアレントプログラムの研修会の案内を行ったり、職員を研修に出したりしている。	
保護	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			契約時に重要事項について、説明を行っている。	受給者証の内容についても説明するようにしている。

者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			相談を受けた際には、話を聴く時間を設け、必要な助言と支援を行っている。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		保護者会としては開催していないが、交流の場として、いも煮会や研修会などを行っている。	保護者会の開催は今後の課題として考えている。芋煮会は行っている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			苦情が出された際には、苦情受付担当者が責任者に報告するとともに、誠意を持って迅速に対応することとしている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			広報を発行し活動の内容などの情報の発信を行ったり、ホームページを活用したりしている。月に1度お便りを配付し、子どもたちの様子を伝えている。	写真で子どもの様子を伝える等、お便りやホームページをもっと活用していきたい。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			個人情報の取り扱いについては、情報が流失しないように十分注意している。	利用児の活動エリアに、個人情報記載されたものを持ち込まないようにしている。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			視覚的に分かりやすい情報開示を行い、意思の伝達が滞らないようにしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			保護者向けの研修会に、地域の方も参加できるよう案内している。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<input type="radio"/>			契約時に重要事項の項目で説明をしている。	マニュアルを策定し職員には周知されているが、保護者への周知は不十分。機会を設けて説明会を行うようにする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			防災計画に沿って定期的実施している。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			内部研修で虐待についての研修は行っているが、必要に応じて派遣研修への参加も検討する。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			やむなく身体拘束の対応を迫られた場合は、保護者の了解を得たうえで個別支援計画に記載し対応している。	暴力的な行動が出現した場合、落ち着くまで個室において、職員とタイムアウトをする場面も同様な対応とする。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			食物アレルギーの疑いがある児童がいる。保護者に確認しながらおやつを提供している。	現在は医師の支持をおけるほどの対象児がいないが、必要があれば医師の指示に従い対応する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		<input type="radio"/>		ヒヤリハットが起きた場合には、職員会議で協議し情報共有している。	ヒヤリハットの報告を基に、事例集を作成する予定である。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。